

第 6 回「オンラインでの対話活動」

主催者ふりかえり（KEPT）シート まとめ

【主催者】 9 人 （内訳）行政職員 4 人（磐田市 2 人、菊川市 2 人）
国際交流協会スタッフ 1 人（磐田国際交流協会 1 人）
県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人

●Keep（良かったこと、続けたいこと）

- ・経験値を増やしたいです。（村井智和：磐田市地域づくり応援課）
- ・ハイブリットのやり方、勉強になりました。パワポ使わずに対面の提示をカメラで映す、でもできそう？（川添裕子：（一社）磐田国際交流協会）
- ・これからの広がり of 無限度
 - ・今できること+今後できることが増えたり無料ツールが発展したり参加者も慣れたり
 - ・参加者層の拡大（松下愛理：菊川市地域支援課）
- ・ホストからどう見えているかよくわかった。基本的な操作はマスターできたと思う。（萩山美稀：菊川市地域支援課）
- ・基本的な操作を復習できた。何度か定期的に体験することでしっかりマスターしたい。（片山奈津実：県国際交流協会）

●Problem（気になったこと、課題と思ったこと）

- ・気づきが多く、課題は山積みです。（村井智和：磐田市地域づくり応援課）
- ・ズームと会場のダブル運営にすると、ズームばかりになってしまわないか？と思った。（一方ではパソコンやワイファイなど IT 調整でバタバタしそう）（松下愛理：菊川市地域支援課）
- ・いざという時に今日学んだことを生かせるのか心配→経験を積む（萩山美稀：菊川市地域支援課）
- ・スマホと PC の画面の違いがあって、途中、スマホでの設定がよくわからない部分があった。ホストとしてできることと参加者としてできることの違いが参加者の人達が理解していたか疑問に思った。（和田路也：県多文化共生課）
- ・スマホだと細かな操作が異なり、混乱することがあった。学習者に PC・スマホ・タブレットが混在していると、操作の指示がむずかしいだろうなと思った。（片山奈津実：県国際交流協会）

●Try（改善したいこと、チャレンジしたいこと）

- ・日々挑戦です！（村井智和：磐田市地域づくり応援課）
- ・ZOOM 操作に慣れたら、参加者がリラックスできる、余裕のある進行をできるようにしたい。（萩山美稀：菊川市地域支援課）
- ・ブレイクアウトルームを実際に活用してみたい。（片山奈津実：県国際交流協会）